

(仮称) 立川市砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設
建替え工事（新築・解体）工事再開についてのご説明

株式会社 新星建設

1. 経緯説明

2. 原因

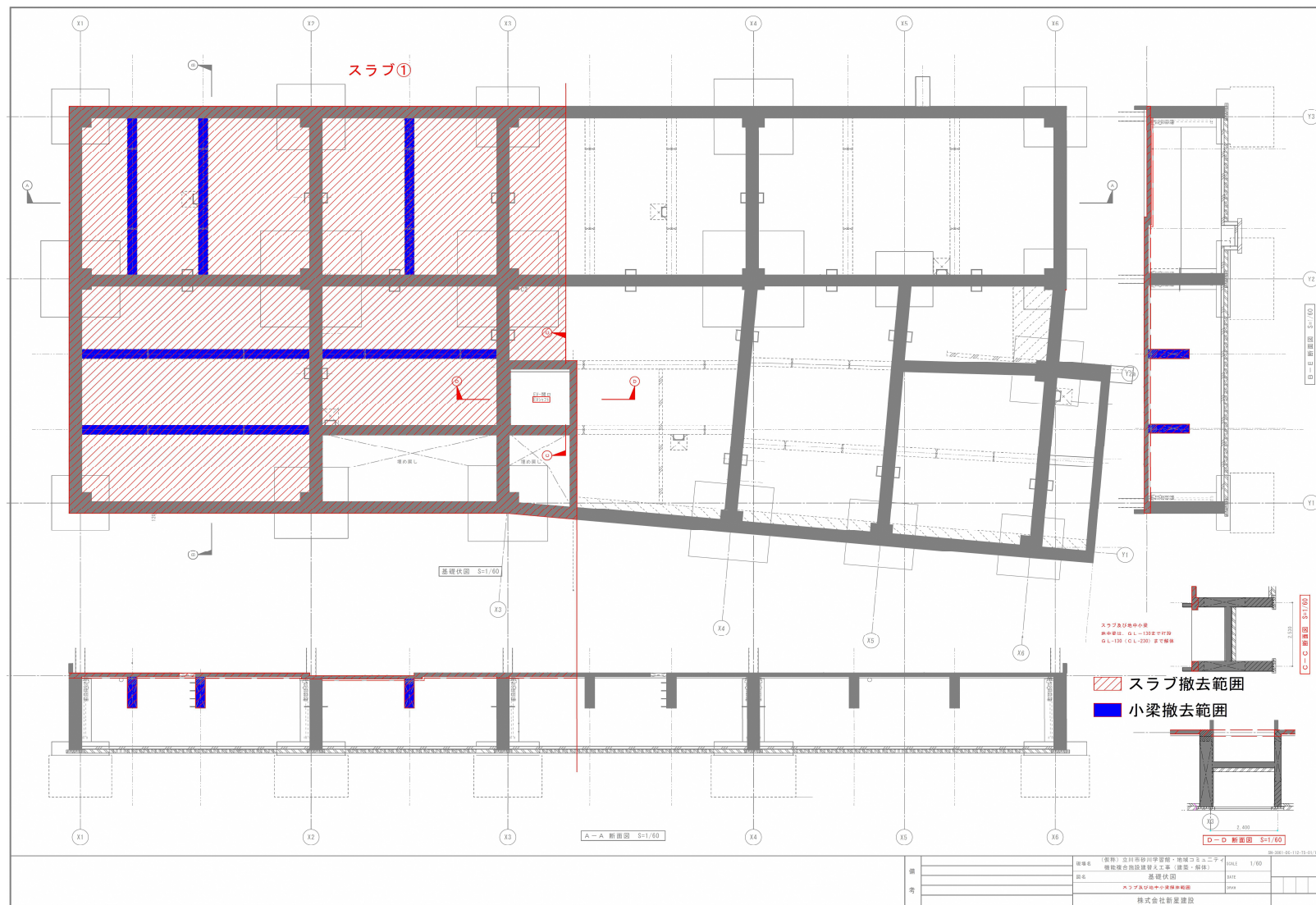
3. 今後の対応

1. 経緯説明

1階スラブ・小梁①, ②における圧縮強度試験結果が不合格になりました。

- ・1階スラブ及び1階小梁は2日に分けて打設を行っております。
- ・コンクリート受入検査については問題ありませんでした。
- ・何れも28日強度で、合格に必要な調合管理強度 27N/mm^2 以下の結果となりました。

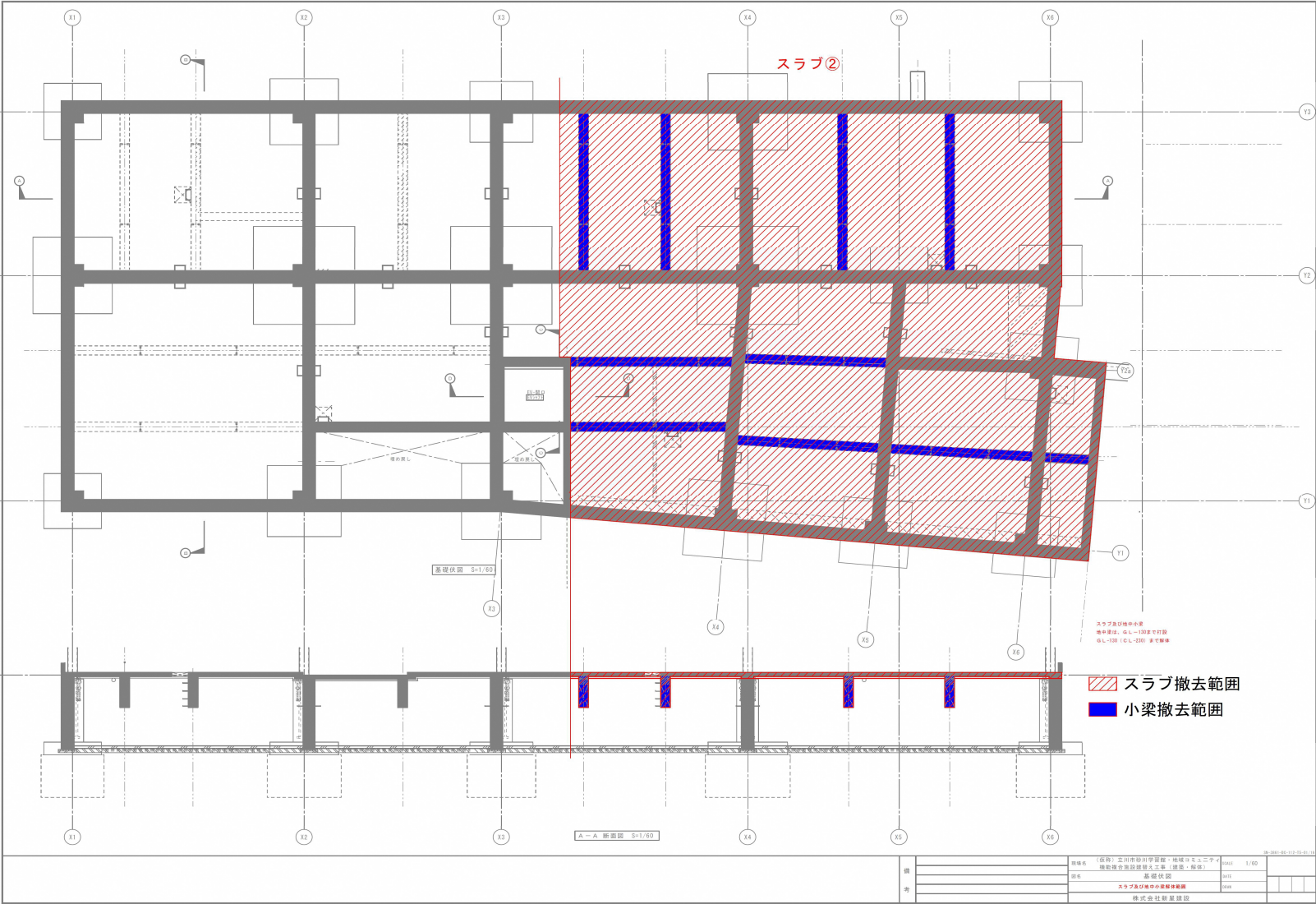
- 打設数量 60.0m³



- ・打設日 スラブ② 4/17
- ・受入検査立会い

立川市 監理者 請負者

打設数量 66.5m³



2. 原因

・配合分析調査：不合格部（スラブ）と合格部（基礎部）との比較

圧縮強度試験をした供試体よりセメント量及び水分量を分析する配合分析調査を行いました。配合計画書の水・セメント比が、52.4%に対し、予定通り強度が出ている基礎は、53%でしたが、強度が出なかったスラブについてはそれぞれ64%・68%という結果となりました。スラブのセメント量の配合割合が少ない結果となりました。

・結論

スラブのコンクリート強度が材齢28日において予定の強度に到らなかった原因はプラントによる配合になんらかの不備があったものと施工者として判断いたしました。

表2 配合推定結果

試料名	単位容積質量 [kg/m ³]	材料単位量 [kg/m ³]			水セメント比 [%]
		セメント量	水量	骨材量	
A-5:1階スラブ①	2276	278	177	1821	64
B-5:1階スラブ②	2224	333	227	1664	68
基礎地中梁: 3/23打設供試体No2-1	2289	388	204	1697	53

計画の通り

※2. 配合推定結果は表乾ベース値。

注) 使用した材料の分析値が不明なため、試験方法に記載の仮定値を用いて算出した。

但し、骨材の吸収率は貴方提供資料(3月、4月)から算出した平均値を用いた。

3. 今後の対応

- ① 4/16・17打設したスラブと小梁のコンクリートを残置躯体との間を切断し、重機及び手動にて撤去及び再打設をいたします。
- ② 今回の原因と考えられるプラントを変更いたします。
- ③ 原因究明に要した停止期間・解体及び再施工に要する期間として約6か月の工期延伸をします。
又、近隣の皆様方には、再度の解体工事による騒音・振動などご迷惑をお掛け致しますが、安心・安全な建物の建設を行う為にご理解・ご協力をお願いいたします。

全体工期 令和5年7月18日 ~ 令和7年8月末日頃

解体に関わる作業(スラブ)	令和6年8月中旬～10月末頃まで
新築に関わる作業	令和6年11月初旬～令和7年8月末日頃
※騒音への対応として近隣住宅近接部に防音シートにて囲いをいたします。	

作業にあたって
解体に関わる作業

土・日・祝は休みとします。9:00～17:00まで(前後30分程度準備作業)

新築に関わる作業 日・祝は休みとします。8:30～17:00まで(前後30分程度準備作業)

解体と新築に関わる作業が同日に行われる際は、新築に関わる作業は、土曜日にも作業をいたします。
解体に関わる作業は、9:00より開始。土曜日の作業は行いません。

工事工程表

